

歯科材料 01 歯科用金属
管理医療機器 歯科鑄造用合金向けプラスメタル 70781000

ワシ金プラスメタル

【禁忌・禁止】

本合金、類似成分の合金又は配合成分に対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

成分・分量：

成分	分量
銀	26%
銅	68%
亜鉛	6%

【使用目的又は効果】

主としてクラスプ、バー、インレー等の合金金作製用に用いる。。

【使用方法等】

(1) プラスメタルと純金の調割合合

	純金量+プラスメタル	
22K	5 g +0. 50 g	2 片
20K	5 g +1. 00 g	4 片
18K	5 g +1. 75 g	7 片
16K	5 g +2. 50 g	10 片
14K	5 g +3. 50 g	14 片

(2) プラスメタルと純金の混溶方法

皿ルツボにやや多めの硼砂を入れ、予め細片にした純金を溶解します。金が球状に丸まったときプラスメタルを加えて適時硼砂をふりかけながら完全に溶解しボタン状にしてください。なお、この混溶した合金ボタンが冷却しないうちに次の鑄造溶解に移行できるように、リング加熱とタイミングを合わせて、上記の調合溶解をすれば鑄造溶解が能率的に行えます。

(3) 鑄造溶解

金合金の通法により上記混溶合金を溶解して鑄造してください。

(4) 熱処理

本プラスメタルによる金合金は熱処理性が良好ですから鑄造後直ちに水中で急冷すれば軟化し、鑄造後そのまま室温まで放冷すると適度の硬さが得られます。

① 軟化熱処理

700℃の炉中に 10 分間入れ、その後急水冷してください。

② 硬化熱処理

軟化熱処理後 420℃の炉中に 15 分間入れた後、炉外で室温まで放冷してください。

(5) ロウ着

市販の溶剤を用いて通法によりロウ着してください。

(6) 研磨

金合金の通法で、容易に優美な黄金色色調と光沢仕上げが行えます。

【使用上の注意】

1) 重要な基本的注意

本合金の使用により発疹、皮膚炎などの過敏症状があらわれた患者には、使用を中止し、医師の診断を受けさせること。

2) 不具合・有害事象

本材の使用に伴い、掌蹠膿疱症、偏平苔癬、皮膚炎などの歯科金属疹(遅発性金属アレルギー疾患)を発症することがあります。

3) その他の注意

①本合金の鑄造設備付近には、局所排気装置、換気扇などを設けて密閉した部屋での作業を避け、鑄造により発生する粉塵及び蒸気を吸入しないこと。

②本合金の研磨作業などの際には、粉塵による人体への影響を避けるため、局所粉塵装置、公的機関が認可した粉塵マスクなどを使用し、粉塵を吸入しないこと。

③他の合金と混融しないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 亀水化学工業株式会社

電話番号 (フリーダイヤル) 0120-267-720

製造元 亀水化学工業株式会社